

# IAISのステークホルダーエンゲージメントに関する方針に意見提出

日本損害保険協会(会長:新納 啓介)は、保険監督者国際機構(IAIS)(※1)が6月21日から8月20日にかけて市中協議に付した、ステークホルダーエンゲージメントおよび市中協議に関する新たな方針に対する意見を提出しました。

#### 1. 市中協議文書の概要

- ・ 市中協議文書は、IAIS の既存のステークホルダーエンゲージメント計画および市中協議に関する方針を 統合・代替するものであり、主に以下の観点から内容が更新されている。
  - 実務と整合していない箇所の修正
  - ▶ 最新でない情報を参照している箇所のアップデート
  - ▶ IAIS の環境方針・対面会合の減少を踏まえた、ステークホルダーエンゲージメントの見直し
  - ▶ IAIS 内部の方針・プロセスに関する記載の修正(公表文書にふさわしい記載への変更)
- ・・ステークホルダーエンゲージメントの実施に関する原則として、以下が示されている。
  - 多様性・公平性・包摂性(すべての関連するステークホルダーの関与の確保)
  - ▶ 透明性(市中協議やガバナンス等におけるオープンで透明性のある運営)
  - ▶ 平等なアクセス(バーチャル会合の活用等)
  - 利益相反の回避

#### 2. 損保協会意見の概要

- 4点の原則の設定により、エンゲージメント原則がより明確化されたことを歓迎する。
- ・ 対面参加のほうがバーチャル参加よりも活発な意見交換をしやすいなど、対面会合の効用も多くあるため、引き続き対面会合の機会を確保いただくこと、バーチャル会合の場合は時差を考慮いただくこと等、 対面とバーチャルのバランスの取れた運営がなされることを希望する。
- ・ 検討中のトピックについて、文書作成プロセスの初期・中期の段階でステークホルダーへのアウトリー チを行うことで、様々な観点での議論が可能となり、より多くのステークホルダーにとって有益・実効 的な成果物となることが考えられる。また、これによって議論の透明性も高まる。

当協会は、IAIS における国際保険監督基準策定の議論に積極的に参加しており、今後も市中協議等に際して本邦業界の意見を表明していきます。

### (※1)保険監督者国際機構(IAIS)

1994年に設立され、世界 200 カ国・地域以上の保険監督当局(メンバー)で構成される組織。 主な活動は以下のとおり。

- 1)保険監督当局間の協力の促進
- 2) 保険監督・規制に関する国際基準の策定および導入促進
- 3)メンバー国への教育訓練の実施
- 4) 金融セクターの他業種の規制者等との協力
- ※日本からは金融庁がメンバーとして参加しており、当協会もステークホルダーとして積極的に関与する 方針を掲げている。



番号	質問(仮訳)	損保協会意見	<b>損保協会意見(英文)</b>
1	方針案のセクション2に示されてい	4つの原則の設定により、エンゲージメント原則がよ	We welcome the clarification of the IAIS principles for
	るステークホルダーエンゲージメン	り明確化されたことを歓迎する。IAIS の原則として、	stakeholder engagement through the four principles.
	トの原則についてコメントはある	「多様性、公平性、包括性(DEI)」の確保は極めて重	While we believe that ensuring "Diversity, equity and
	か。	要と考えるが、一方で、異なるステークホルダー間で	inclusion (DEI)" is extremely important as an IAIS
		は利害が異なる点もあるため、様々な立場を配慮し、	principle, we hope that various positions of different
		議論がなされることを期待する。	stakeholders should be considered during discussions,
			as they may have differing interests.
		また、「平等なアクセス」において、IAIS 利害関係者	In addition, regarding "Equal access", we welcome the
		のエンゲージメントにおける仮想オプションの提供を	assurance that all IAIS stakeholder engagements offer
		  保証していることを歓迎する。ただし、対面参加の方	an option to join virtually. However, because there are
		   がバーチャル参加よりも活発な意見交換をしやすいな	many benefits of in-person meetings (such as more
		ど、対面会合の効用も多くあるため、引き続き対面会	active exchanges of views than virtual meetings), we
		合の機会を確保いただくこと、バーチャル会合の場合	would like to ask the IAIS to strike a balance between
		は時差を考慮いただくこと等、リアルとバーチャルの	in-person and virtual meetings, for example, by
		バランスの取れた運営がなされることを希望する。	continuing to ensure opportunities for in-person
			meetings and by taking into account time differences
			when holding virtual meetings.
2	方針を実施するためのセクション6	市中協議プロセスについて、公開協議には、既存の監	We understand that the scope of public consultation
	に示されている措置についてコメン	督文書、サポーティング文書の改定も含まれると思う	includes revisions to existing supervisory standards
	トはあるか。	が、改定文書とともに、改定箇所が分かる新旧の比較	and supporting materials. If a document clarifying the
		表が提供されれば、さらに理解が進み、市中協議のプ	revised parts by showing comparison between the
		ロセスがスムーズになると考える。	existing and proposed texts is provided along with the
			consultation draft, it would further enhance our
			understanding and facilitate the consultation process.



また、オンラインでの公開バックグランド・セッションや、公開討論会などの開催時間については、世界中どの時間帯からでも参加しやすいよう配慮いただきたい。また、例えば、同一のテーマのセッションを2つの時間帯で2回実施するなどの工夫を検討いただき、その際、IAISのリソースの観点や、参加者の理解の観点から、事前に資料や解説動画を共有し、公開討論会は参加者との質問のみに限定するなどしてはどうか。資料や解説動画は開催1週間前までに共有、QAセッションは実施後速やかに共有する等のルールを定めることも考えられる。

In addition, we would like to request that the IAIS consider the time of online public background sessions and public discussion sessions in order to facilitate participation from different time zones around the world. For example, the possibility of holding two sessions on the same topic at two different times could be considered. In view of the IAIS' resources and participants' better understanding, we suggest that presentation materials and explanatory videos be shared in advance, and that public discussion sessions be focused solely on Q&As with participants. The IAIS could set rules to share such materials and videos at least one week prior to the event, and to post recordings of the Q&A sessions promptly after they are held.

また、公開協議のスケジュール設定に際しては、別途 実施している年次モニタリング(例えば、ICS モニタリング、IIM)等のタイミングや各国の祝日を考慮いただ き、ステークホルダーにとって過度な負担とならない ようにすることで、監督者・被監督者双方にとって円 滑な情報交換を可能にすると考える。 When setting the schedule for public consultations, the timing of annual monitoring (e.g., ICS data collection, IIM) and public holidays in member jurisdictions should be taken into account so as not to impose an excessive burden on stakeholders. This will enable smooth exchange of information for both supervisors and supervised parties.

IAIS が透明性を高めるために、さらにどのような措置を取ることができるか。

年次総会やグローバルセミナー、また、課題や議論の 重要度に応じてアドホックに開催される IAIS 主催の会 合は、IAIS の活動の透明性を高めるうえで重要な役割 We believe that the Annual Conference and the Global Seminar, as well as meetings held by the IAIS on an ad hoc basis depending on the importance of the topics or



を果たしていると考える。

幅広いステークホルダーが会合に参加できるよう、会合の開催形式は原則ハイブリッドにしていただきたい。カーボンフットプリントの観点から今後対面会合が少なくなることも想定されるが、透明性、また他の3つの原則の観点からも、幅広いステークホルダーに引き続き対面参加の機会が確保されていることは重要と考える。

IAISで検討中のトピックについて、文書作成プロセスの初期・中期の段階でステークホルダーへのアウトリーチを行うことで、様々な観点での議論が可能となり、より多くのステークホルダーにとって有益・実効的な成果物となることが考えられる。またこれにより、議論の透明性も高まることが考えられる。

事務局長、ExCo 議長の他、ExCo メンバーや WG 議長 クラスのメンバーが、IAIS の立場で外部の会議で説明・発言した内容についても、透明性を確保すること は重要であり、現在 IAIS ニュースレターに掲載されていない発言・説明等についても、広くウェブサイトで 公開することが考えられる。

discussions, play an important role in increasing the transparency of the IAIS' activities.

In order to ensure the participation of a wide range of stakeholders, we request that, in principle, meetings be held in a hybrid format. Although it is expected that opportunities for face-to-face meetings may become less frequent in the future to reduce carbon footprints, in view of transparency for stakeholders as well as the other three principles, it is important to ensure that a wide range of stakeholders continue to have the opportunity to participate in person.

Outreach activities towards stakeholders on topics under consideration within the IAIS in the early and mid-stages of the document development process would allow for discussion from a variety of perspectives and produce a more useful and effective outcome for a greater number of stakeholders. This may also increase the transparency of the discussion.

It is also important to ensure transparency of speeches and remarks made by the Secretary General, the ExCo Chair, ExCo members, and WG Chairs, etc. at external meetings in their capacity as IAIS members. We request that the IAIS consider posting such interactions



## 保険監督者国際機構(IAIS)「ステークホルダーエンゲージメント・市中協議方針」に関する損保協会意見

			(which we believe are not always all included in the
			IAIS Newsletters) more broadly on the IAIS website.
5	IAIS が考慮すべきベストプラクティ	FSB では Plenary を開催した後に議論の概要をプレス	The FSB issues a press release with a summary of the
	スの例は他にあるか。	リリースしている。IAIS も Exco 等における議論の概要	discussion after plenary meetings. The IAIS could also
		をプレスリリースすることが考えられる。	consider issuing press releases outlining the
			discussions at ExCo meetings, etc.
6	この方針について、他に一般的なコ	ステークホルダーエンゲージメントの原則に対し、意	We appreciate the opportunity to submit inputs towards
	メントはあるか。	見提出の機会をいただき感謝する。業界としてもタイ	the principles of stakeholder engagement. We hope
		ムリーで質の高い貢献をしていきたく、引き続き、業	that the IAIS will continue to provide such opportunities
		界からのインプットの機会を設けていただくことを希	so that we can make timely and meaningful
		望する。	contributions.